

中播磨・西播磨医療圏域における課題

1 今後の患者数の推移

西播磨医療圏域では、どの診療科も概ね平成 37 年度をピークに減少に転じていくが、中播磨医療圏域では、平成 42 年度まで伸び続けることとなる。そのため、両圏域で見た場合平成 22 年度に比べて平成 42 年度は全体で約 2 割の患者増が見込まれる。

特に循環器系・呼吸器系疾患の患者数は大幅な増が見込まれる。

【中・西播磨医療圏域の疾患別入院患者数の推移】 (単位:人)

区 分	H22①	H27	H32	H37	H42②	②/①
循環器系	2,813	3,046	3,296	3,556	3,598	128%
新生物	2,011	2,096	2,164	2,205	2,206	110%
損傷その他外因	819	874	936	999	1,006	123%
呼吸器系	536	580	631	689	695	130%
消化器系	449	474	497	517	517	115%
その他	3,906	4,054	4,195	4,320	4,308	110%
合 計	10,534	11,124	11,719	12,286	12,330	117%

2 医師数の偏在

- (1) 全国、県平均と比べて、中播磨、西播磨医療圏域における医師の数は、全国平均・県平均と比べて大幅に少ない状況である。
- (2) 特に西播磨医療圏域においては、県内で最も医師数が少ない状況であることから、県西部において教育・研修機能を備えたマグネットホスピタルを整備し、若手医師が定着できる仕組み作りが求められる。
- (3) 姫路地域周辺の高校では、医学部への進学者数は多いが、地元に戻ってくる医師が少ないことが一つの課題であると思われる。

【医師数の状況】 (単位:人)

区 分	医師数 (対10万人)	全国平均との 差
全 国	226.5	—
兵庫県	226.6	0.1
神戸	291.6	65.1
阪神南	269.2	42.7
阪神北	168.7	△ 57.8
東播磨	181.7	△ 44.8
北播磨	182.6	△ 43.9
中・西播磨	179.8	△ 46.7
中播磨	193.7	△ 32.8
西播磨	149.8	△ 76.7
但馬	182.8	△ 43.7
丹波	168.5	△ 58.0
淡路	199.7	△ 26.8

【姫路市内・近隣高校の平成27年度医学部合格状況】

区 分	人 数	人 数	
		国公立	私 立
A高校	20人	10人	10人
B高校	76人	37人	39人
C高校	12人	7人	5人
D高校	3人	3人	0人
E高校	1人	1人	0人

※ 県病院局から主な高校への聞き取り調査であり延べ人数となっている

3 西播磨医療圏域の入院患者の流出状況

入院患者数を見た場合、西播磨医療圏域から中播磨医療圏域への流入が24.4%と県内の圏域間の中で最も流入割合が高くなっていることから、西播磨医療圏域が中播磨医療圏域（主に姫路市）に一定依存している状況である。

また、入院患者にとっては、両医療圏域は一体的な圏域としてとらえているものと思われる。

(単位:%)

区 分	施設所在地												合 計	
	神 戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但 馬	丹 波	淡 路	県内計	県 外		
患者 住所 地	神 戸	85.4%	2.5%	1.4%	4.7%	2.3%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%	96.7%	3.3%	100.0%
	阪神南	5.7%	74.4%	6.5%	0.3%	0.4%	0.0%	0.2%	0.0%	0.1%	0.0%	87.7%	12.3%	100.0%
	阪神北	4.5%	13.5%	63.7%	0.1%	0.5%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	82.6%	17.4%	100.0%
	東播磨	11.3%	0.9%	0.4%	79.1%	2.6%	3.1%	0.4%	0.0%	0.0%	0.1%	97.9%	2.1%	100.0%
	北播磨	10.1%	1.0%	1.6%	5.1%	77.7%	1.8%	0.6%	0.0%	0.3%	0.0%	98.3%	1.7%	100.0%
	中播磨	2.3%	0.7%	0.3%	3.5%	3.8%	83.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	97.9%	2.1%	100.0%
	西播磨	2.1%	0.6%	0.2%	1.2%	0.8%	24.4%	67.4%	0.1%	0.0%	0.1%	96.8%	3.2%	100.0%
	但 馬	2.7%	0.5%	0.6%	0.5%	2.0%	4.2%	0.4%	75.9%	0.5%	0.0%	87.3%	12.7%	100.0%
	丹 波	7.4%	4.2%	9.5%	1.3%	12.6%	0.3%	0.0%	0.7%	54.5%	0.0%	90.6%	9.4%	100.0%
	淡 路	6.7%	1.5%	0.8%	3.3%	1.3%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	76.5%	90.4%	9.6%	100.0%

4 救命救急センター

姫路市内には、3次機能を持つ病院は、製鉄記念広畑病院、姫路循環器病センターの2病院あるが、数少ない医療資源が分散されていることから、全国の救命救急センターと比べて、医師数、院内後方ベッドの数が少ない状況である。

<病床数別設置状況>

(単位:床)

区 分	病 院 数	割 合	うち都道府 県・政令市・ 中核市立※	
			割 合	割 合
700床以上	86	32.3%	14	42.4%
600床以上700床未満	51	19.2%	8	24.2%
500床以上600床未満	54	20.3%	4	12.1%
400床以上500床未満	48	18.0%	6	18.2%
400床未満	27	10.2%	1	3.0%
合 計	266	100.0%	33	100.0%

姫路循環器病
センター

※ 都道府県立は政令市、中核市に立地している病院のみを抽出
救急単科病院は除く

<医師数>

(単位:人)

区 分	専従医師	うち救急科専門医	年間受け入れ 重篤患者数
最 大	40	17	4,003
平 均	9.6	4.9	956
参 考	姫路循環器病センター	-	938
	製鉄記念広畑病院	4	1,158

98.1%
121.1%

※参考は、医師数はH27.4.1現在、患者数はH26年度数値を記載
※姫路循環器病センターは循環器専門病院のため、救命救急センターは救急の専従医師ではなく、各診療科の医師で救急対応を行っている

5 全国の同等規模の政令市・中核市との比較

全国の同等規模の政令市・中核市と比較した場合、充実した医療提供体制や教育・研修や研究を行うことが可能となる大規模な総合型の病院が不足している。

【全国政令市・中核市の大規模病院の状況】

区 分		500床以上の大規模病院数						計
		0	1	2～3	4～6	7～9	10以上	
市内最大病床規模	500床未満	3	-	-	-	-	-	3
	500以上 600未満	-	4	0	0	0	0	4
	600以上 700未満	-	4	8	2	0	0	14
	700以上	-	9	20	8	2	3	42
	計	3	17	28	10	2	3	63

↓
姫路市：500床以上の大規模病院：姫路赤十字病院（555床）